

**団体名：しものせき・竹アンサンブル**

**活動名：バンブーオーケストラの演奏活動**

代表者 / 村 田 悟 所在地 / 下関市大字伊倉 7 下関国際高校内

## 活動紹介

### 活動の目的

平成10年度に策定された「やまぐち里山文化構想」に基づき、“里山の再生”と“里山活動の意識醸成の高揚”を図ることを目的に、里山に多く分布する「竹林」を整備し、同時に出てくる「竹」の有効利用を図るため、地元の「竹」により自ら製作した「竹楽器」による“竹音楽”演奏を通して竹をはじめとする里山の魅力を県民に伝えていき、新たな里山文化を創造します。

### これまでの活動の様子（内容）

下関市王喜地区で荒れた里山の竹林整備活動を行っている里山ボランティア活動グループ「かぐや姫の里づくりの会」を支持母体に、楽器製作から演奏まですべて自ら実施する県内初の“竹楽器”演奏の県民楽団「やまぐちバンブーオーケストラ」として平成16年5月に誕生しました。結成後すぐに楽器製作、2ヶ月後には演奏を開始し、月4回以上の練習と楽器製作により、同年11月の「全国竹の大会」(萩市)においてデビューしました。平成17年3月には「しものせき・竹アンサンブル」として会則を定め、地域での活動をより活性化させることとしました。

「豊かな森林づくり県民のつどい」(平成17年4月：周南市)や、「下関森林ふれあいまつり」(同年5月：下関市)等、県内各地での森林・里山関係の行事における演奏活動のほか、地域での演奏活動を重ねた結果、竹の奏でる音色の美しさから多方面から演奏依頼が来るようになり、県下各地の様々なイベントに出向き「竹楽器」の音色とともに里山の魅力を広げています。

### 活動の展望

かつて筍や竹細工製品を生み出し、子どもたちの遊び場にもなった里山の竹林は、今や中国産筍やプラスチック製品に替わり荒れた暗い山となっています。既成の楽器でなく楽団員自らが地元の竹から作った竹楽器で演奏する音色を聞いていただくことで、竹林の手入れの必要性を県民ひとりひとりにアピールし、バンブーオーケストラの輪が県下各地に広がること、さらには、製作した楽器やクラフト等を利用した演奏活動による山口県の里山文化が全国に情報発信できることを願っています。

現在、来年開催の第21回「国民文化祭・やまぐち2006」に向けて、練習に熱が入っています。



楽器製作風景



全国竹の大会